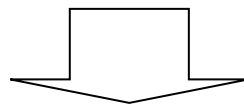


令和3年度 文京区立柳町小学校 授業改善推進プラン 1年

	育てたい力	具体的な授業改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> 文章を読み、内容の大体を捉えること。 経験したことや想像したことから書くことを見付け、伝えたいことを表現すること。 行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えること。 互いの話を集中して聞くこと。 平仮名や片仮名を正しく読んだり書いたりすること。 	<ul style="list-style-type: none"> 繰り返し音読をさせたり、題名や写真・挿絵などを手掛かりにさせたりする。 モデルを示したり、学習計画を立てて学習の見通しをもたせたりすることで、伝えたい相手に伝えたいことを表現しようという意欲付けを行う。 ペアやトリオで対話をさせることで、伝えたい事柄やその順序を明確にもたせる。 友達の言いたいことは何かを考えながら聞くようにさせる。 日常的に書く機会を設け、書くことに慣れさせる。
算数	<ul style="list-style-type: none"> 具体物を用いて、数の感覚を豊かにすること。 加法及び、減法の意味を理解し、用いることができること。 	<ul style="list-style-type: none"> 具体物やおはじきなどの半具体物を用いて考えさせることで、個数や順番を正しく数えたり表したりする。 具体物・半具体物の操作、図・式で表現という手順を踏むことで「あわせて」「みんな」「のこり」「ちがいがい」等の言葉の意味を実感させ、加法や減法の計算方法を身に付けさせる。
生活	<ul style="list-style-type: none"> 自分の身近な人々、社会、自然との関わりに気付き、自ら働きかけていこうとすること。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校探検や植物の栽培、動物とのふれあいなど具体的な活動や体験などを通して、学ぶ機会を設ける。 活動を通して気付いたことや楽しかったことを、言葉や絵、動作など多様な方法で表現し考えることができるようにする。
体育	<ul style="list-style-type: none"> 簡単なきまりや活動を工夫して各種の運動を楽しむことができるようにするとともに、その基本的な動きを身に付け、体力を養うこと。 誰とでも仲よく活動し、健康・安全に留意して意欲的に運動をする態度を育てること。 	<ul style="list-style-type: none"> 楽しんで活動しやすいように単元にあった場の設定をする。 動きをイメージしやすいような言葉やルールを取り入れる。またリズムに乗って体を動かすことで楽しさを感じられるようにする。 友達のよい動きを見付ける機会を増やすために、交流の場を設け、児童同士が声をかけ合って活動できるようよい動きや声かけの例を示す。
道徳	<ul style="list-style-type: none"> 登場人物の気持ちを想像し、表現すること。 これまでの自分を振り返ったり、今後の自分の在り方について考えたりすること。 	<ul style="list-style-type: none"> 中心となる発問を設定し、登場人物の気持ちになって考えることができるようにする。 ワークシートなどを活用して、じっくり考える時間を確保する。 意見がもてない時は、友達の発言から「同じ」や「似ている」、「違っている」など自分の考えを表現できるようにしていく。

音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しく音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを味わうことができるようにすること。また、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養うこと。 ・音楽表現に必要な技能を身に付けること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音や音楽の出合いを大切に、音楽を形づくっている要素を聴き取り、言葉や体の動きなどで表現したり比較したりしながら音楽経験を積み重ねていく。その際、友達と共有したり共感したりできるようにする。 ・くり返し音楽を聴いたり体を動かしたりしながら、楽曲に親しみ音楽を聴く楽しさを味わえるようにする。 ・歌詞や曲の感じからどのように表現を工夫し、どのように歌ったり演奏したりするのか、常に問いかけ、一人一人が思いをもてるようにする。低学年では特に「拍感」を育つように体を動かす活動を取り入れる。 ・声や身の回りの音など、友達と関わりながら音遊びに親しめるようにする。
図工	<ul style="list-style-type: none"> ・造形活動を楽しみ、豊かな発想をするなどして、手や体全体の感覚や技能などを働かせ、材料や用具を用いて表現すること。 ・身の回りの作品などから、面白さや楽しさを感じ取るようにすること。 ・楽しく表したり見たりする活動に取り組み、作り出す喜びを味わうこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・技能面に関しては、図や実演などで示す。繰り返し取り組めるように設定する。また、個別に指導する必要がある場面を見落とさないように気を付けて指導する。 ・自分の作品のよさに気付かせ、自信をもたせる。また、友達の作品のよい点などを見付けるような交流の場を設ける。 ・学習意欲をもつことができ、持続できるような内容を設定する。



成果○ と 課題▼	
国語	<ul style="list-style-type: none"> ○繰り返し音読をさせたり、題名や写真・挿絵などを手掛かりにさせたりすることで、内容の大体を捉えて読み、登場人物の気持ちを考えたり文章の中の重要な語や文を選び出したりすることができた。 ○教師がモデルを示したり、相手意識・目的意識の感じられる学習計画を立てたりしたことで、児童は自分の経験したことや想像したことから伝えたいことを表現することができた。 ○話す事柄の順序を考え、自分の行動したことや経験したことを話すことができた。 ▼助詞や句読点を正しく使って伝えたいことを詳しく書く力については、個による差が見受けられる。楽しく文作りができる活動を行ったり、構成表にヒントとなる文を書いて支援したりすることで、意欲的に書く活動に取り組ませるとともに、交流活動を充実させ、友達や自分の文章のよさに気付かせる。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ○具体物やブロックなどの半具体物を用いて考えさせることで、個数や順番を正しく数えたり表したりすることができるようになった。また、10のかたまりや5とび、2とびなど、数え方を自分なりに工夫して数えることができるようになった。 ○具体物・半具体物の操作、図、式で表現という手順を踏むことで「あわせて」「みんな」「のこり」「ちがひ」等の言葉の意味を実感し、加法や減法の計算方法が身に付いてきた。どんな計算になるのかを考えるときに、図や言葉を用いて説明して、取り組めるようになった。 ▼10の合成分解や念頭処理による計算を確実にするため、引き続き反復練習をしていく。

生活科	<p>○体験活動を通して、身近なものの中から見付けたことや感じたこと、新しく分かったこと、思ったことを意欲的に絵や言葉にして表現する児童が増えた。</p> <p>○「かぞくにここにこだいさくせん」の学習で、家族のために自分たちができることに気が付き、家族への所属感が高まった。</p> <p>○季節の遊びや、昔遊びに幅広く触れることで、友達と仲良く関わるとともに、そのよさに気付くことができた。</p> <p>▼友達との関わりの中で、よりよい工夫やアイデアが生まれるよう学習を計画していく。</p>
体育	<p>○動きをイメージしやすいような言葉やルールを取り入れることで、体を動かすことで、楽しさを感じられることができていた。</p> <p>○誰とでも仲よく活動し、健康・安全に留意して意欲的に運動をする態度や楽しんで活動していた。</p> <p>○友達のよい動きを見付ける機会を増やすために、交流の場を設け、児童同士が声をかけ合って活動できていた。</p> <p>▼ルールや指示理解の難しさから、違う行動をして怪我につながる場面が少々見られた。教師が手本を示したり、ルールを文字で示すなど、活動の前に確認していく。</p>
道徳	<p>○教材や発問に合わせた教材提示を行ったり、児童の活動を工夫して設定したりしたことで、児童は、登場人物の気持ちに寄り添って想像することができた。</p> <p>○ワークシートを活用したりじっくり振り返る時間をとったりしたことで、児童が自分自身の問題として考えることができた。</p> <p>▼児童が道徳的価値の大切さを実感し、実践意欲がもてるよう引き続き指導していく。</p>
音楽	<p>○コロナ禍にあっても、曲の特徴を捉え、1年生なりに音楽の見方・考え方を働かせることができるように音楽の用語を用いながら授業を進めるとともに拍を意識した授業を行った。また、音楽会を通し、児童は音や音楽と楽しく生き生きとかわる態度が育っている。</p> <p>▼音楽科の授業はかなり活動が制限された。歌唱による表現の工夫をしたり、鍵盤ハーモニカの学習も十分できなかつたりした。さらに、音楽を形づくっている要素とその働きを1年生なりに感じ、言葉で表すことができるようにすること。このような状況でも、音楽表現に対する思いを低学年なりにもって、表現したり音楽を聴いたりできるようにすることが課題である。</p>
図工	<p>○技能面に関しては、図や実演などで示すことで、手先の巧緻性が身についてきた。個別に指導することで、安全に気を付けて活動できた。</p> <p>○自分の作品のよさに気付かせ、自信をもたせた。失敗しても不安にならない声掛けをすることで、次の活動にも意欲的に取り組むことができた。</p> <p>○友達の作品のよい点などを見付けるような交流の場を設けることで、自分では考えつかなかつたものなどに気付くことができていた。</p> <p>▼キャラクターものを作る児童がいるので、肖像権や著作権の指導を早めにきちんと行うことが必要だと感じた。また、イメージしたものが友達に伝わらないこともあり、お互いの作品を認め合う際にいやな言い方にならないことなども指導が必要である。</p>